



(注)スクリューレス端子台-オプション加工

特長

DC + 24V / 12V-2 電源対応
 170W × 120D × 27Hmm
 スクリューレス端子台仕様 (コネクタ接続も可)
 WAV200B-R サイズ・コネクタ互換モデル
 5/1Wmax.8 スピーカーアンプ装備
 外部音量ボリューム接続対応
 WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono
 CF カード採用 32/64/128/256MB
 登録時間 44 分 max.(256MB 44.1KHz 16Bit 時)
 250 CH-RS-232C シリアル制御
 エディタソフト VoiceNavi Editor 対応
 テキスト入力音声データ作成ソフト VoiceNavi
 Announcer 対応
 WRX7000 シリーズを録音ツールに使用できます。

商品概要

WAV580B-BR は、音源に「WAVE ファイル」、記憶媒体に Flash カード「コンパクトフラッシュ」採用、フォトカプラ入出力、電源ラインのノイズ対策をした<FA仕様>、音声データ登録最大250CH-シリアル制御、5W アンプ搭載の WAVE ファイル再生ボードです。

WAV200B-RS とサイズ・コネクタ互換の後継モデルです。

主な使用用途

クライアント・製品別の対応が要求される分野
 ・駐車場管理受付
 ・入退室管理
 ・券売機・精算機
 ・食券券売機 厨房用音源

警報盤・警報表示盤の音源
 ・警報盤
 ・警報表示盤

シーケンサー仕様機器の音声ガイダンス・警報
 ・制御盤の音声警報
 ・各種産業機器の音声警報・ガイダンス

センサー利用機器の音声案内・注意
 ・立ち入り禁止警告
 ・来客案内

WAV200B-R の上位ご後継機
 ・カードデータは完全互換です。

(注)一部の再生モードは搭載されていません

標準仕様

(注)FA 仕様品希望の場合は WAV570B をご使用下さい。

定格使用電圧	DC+24V±5% または DC+12±5%
消費電流	DC+24V時 待機時 約75mA 最大時 約460mA DC+12V時 待機時 約70mA 最大時 約220mA
寸法・重量	170W X 120D X 27H mm 突起部含まず 約300g
使用環境	- 5 ~ 55 35% ~ 80%RH (但し結露なき事) (保存時) - 10 ~ 70
再生方式	WAVE ファイル (注)16Bit データはソフト処理で再生 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit モノラル 32/16/12.8/8KHz 16/8Bit モノラル
再生帯域	300Hz~ 10KHz
制御方式とチャンネル数	RS232C 250CHmax. 組立再生バッファ (1 フレーム) : 10CH max 再生中受信バッファ : 20 フレーム max. 非同期式 全二重 9600bps IN /STOP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY オープンコレクタ出力 (DC+35V,500mA)

適用メモ리카ード	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1枚 max. (注)メーカー・型式指定 MLC RCF-X**MY IO データ CFS-**M (HI)または相当品																	
登録時間	カード容量とWAVE ファイルのサンプリング周波数による 44分 max. (256MB 44.1KHz 16Bit Mono 時) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">通常</th> </tr> <tr> <th>44.1KHz 16Bit</th> <th>22.05KHz 16Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> </tbody> </table>	カード容量	通常		44.1KHz 16Bit	22.05KHz 16Bit	32MB	5.6 分	11.2 分	64MB	11.2 分	22.4 分	128MB	22.4 分	44.8 分	256MB	44.8 分	89.6 分
カード容量	通常																	
	44.1KHz 16Bit	22.05KHz 16Bit																
32MB	5.6 分	11.2 分																
64MB	11.2 分	22.4 分																
128MB	22.4 分	44.8 分																
256MB	44.8 分	89.6 分																
再生時間	登録 WAVE ファイル合計時間 またはエディタソフトVoiceNavi Editor 上でプログラム登録した場合、その内容による																	
音声出力	スピーカ出力 DC+24V時 5Wmax. 8 DC+12V時 1Wmax. 8 LINE出力 600 不平衡 ?6.5dBm ~ 1.5dBm (出荷時 0dBm 固定)																	
音量調整	1.半固定 VR (ボード上) 2.外部 VR 接続対応 (注)JP による半固定 VR と外部 VR 接続との切替 3.外部接点端子による3段階音量切替 (メイン音量は半固定 VR による) 大 メインVR 中 大×1/2・約-6dB 小-大×1/5・約-14dB 4.コマンド制御による3段階音量切替・保持 (メイン音量は半固定 VR による) FBH - 中(大×1/2・約-6dB) FCH-(大×1/5・約-14dB) FDH - (大・半固定 VR と同一) (注)電源 OFF の場合でも、設定レベルを保持します。																	
付属品	CK-WAV580B 電源/SP/制御用 CK-W2RS RS232C 用																	
オプション	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB CK-VER3 外部 VR 用コネクタケーブル (シールド)1m CK-VR3G3 外部接点端子3段階音量切替用 1m CK-LER2 LINE 用コネクタケーブル (シールド) 1m エディタソフトVoiceNavi Editor テキスト入力音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer																	

開発支援ツール

WAV シリーズは登録エディタソフトVoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ)上で既存 WAVE ファイルを試聴しながらアドレス登録、組立再生などのプログラム登録、カードデータファイル作成などができます。

VoiceNavi Editor 登録エディタソフト



既存の WAVE ファイルを登録できます。組立再生、リピート回数設定などのプログラム登録ができます。
組立再生 1 接点-8wave max.
リピート回数 1 接点-5 回 max.

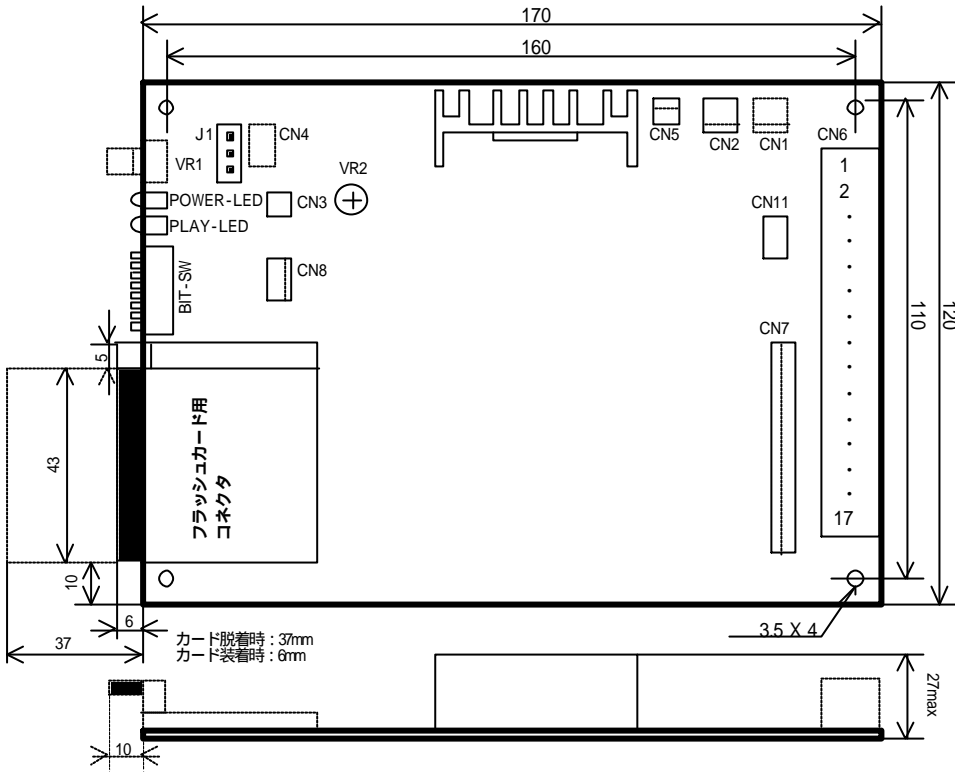
無償ダウンロード

VoiceNavi Announcer <テキスト>入力アナウンサーソフト



(Excel アドオンソフト)
Excel 上のセル内に入力したテキストデータを試聴してから、WAVE ファイルに出力保存できます。登録エディタソフトVoiceNavi Editor も収録されています。

外観図



再生モード

DIP SW bit で設定します。電源 ON 時有効になります。

DIP SW									再生モード
1	2	3	4	5	6	7	8	1	RS-232C シリアル制御
								2	予備

..ON

プログラムローダー

CF カードを使用して、<ユーザー> 仕様の再生モード・タイマーなどのプログラムを書き換えできます。

DIP SW 1									音量制御
1	2	3	4	5	6	7	8	1	書き込み無効
								2	書き込み有効

音量制御

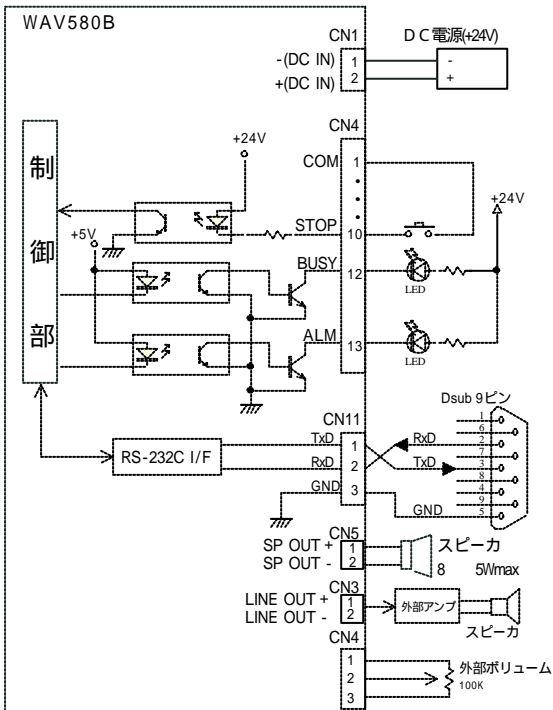
ホストからの音量制御 (RS-232C 制御またはバイナリ制御) の可否を設定

DIP SW 1									音量制御
1	2	3	4	5	6	7	8	1	音量制御無効
								2	音量制御有効

コネクタピンアサイン

CN No.	PIN No.	I/O	説明		備考
			接点制御	バイナリ制御	
CN7	1		COM		付属品 CK-WAV580B
	2	I	/SW8	/D7	
	3	I	/SW7	/D6	
	4	I	/SW6	/D5	
	5	I	/SW5	/D4	
	6	I	/SW4	/D3	
	7	I	/SW3	/D2	
	8	I	/SW2	/D1	
	9	I	/SW1	/D0	
	10	I	/STOP		
	11	I	/OP	/STB	
	12	O	/BUSY		
	13	O	/ALM		
	14		COM		
	15		COM		
	16		COM		
CN8	1		外部 VR-1		オプション CK-VER3
	2		外部 VR-2		
	3		外部 VR-GND		
CN3	1		LINE OUT +		オプション CK-LER2
	2		LINE OUT -		
CN5	1		スピーカー出力+		付属品 CK-WAV580B
	2		スピーカー出力+		
CN11	1	I/O	TxD 送信		付属品 CK-W2RS
	2		RxD 受信		
	3		GND 信号用 GND		
CN1	1		DC+24(12)電源入力 +		付属品 CK-WAV580B
CN2	2		DC+24(12)電源入力 -		

接続参考図



パソコンの D-SUB コネクタと接続する場合

(注) ホスト間のケーブルはクロスケーブルを使用

CK-W2RS に D-SUB コネクタを接続し、パソコンとは RS232C ケーブル(クロス)で接続します。

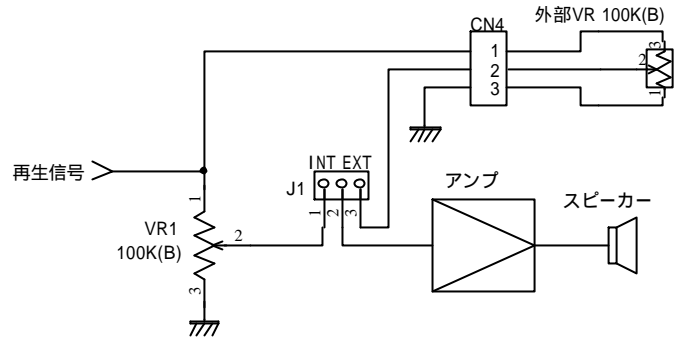
D-SUBコネクタ ヒロセ: HDEP-9Pまたは相当品



外部音量ボリュームの接続 3段階の音量レベル切替機能]

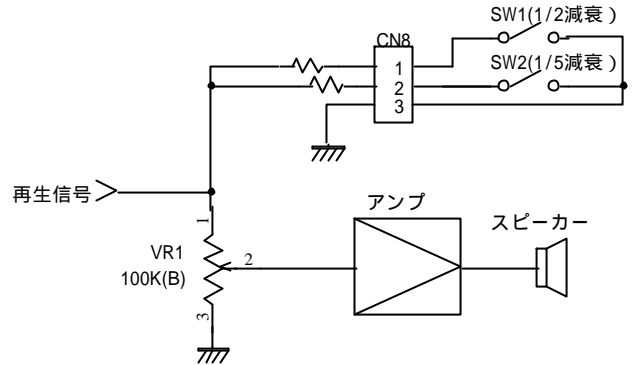
外部音量ボリュームを接続する場合]

ジャンパーピン (内部 VR と外部 VR の設定) を外部 VR に設定。
オプション CK-VER 3 に可変ボリューム 100K (B) を接続します。



外部接点端子による3段階音量切替の場合]

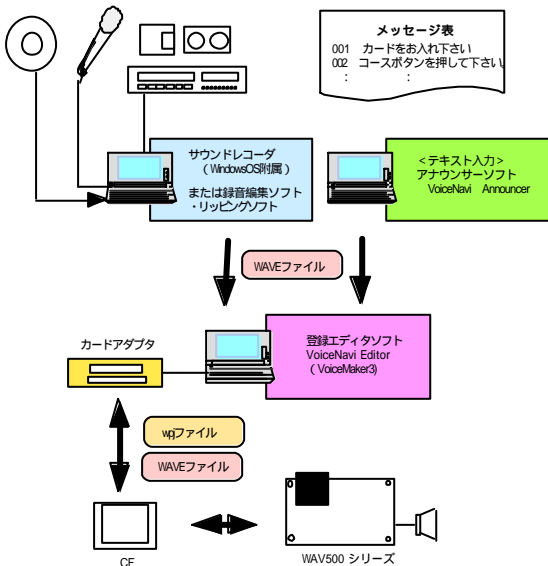
[音量切替端子] 大・半固定 VR と同一 中 (大 × 1/2 ··· 約-6dBm) 小 (大 × 1/5 ··· 約-14dBm)
オプション CK-VR3G3 にスイッチ等を接続します。
メイン音量はボード上の半固定ボリューム (外部 VR 使用の場合のその VR) で調整できます。



音量メッセージの録音または登録 (カードデータの作成)]

WAV500 シリーズは、自社録音または既存の WAVE ファイルを登録エディタソフトを使用してカードデータを作成する方法と WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する方法があります。

登録エディタソフト VoiceNavi Editor を使用する場合]



録音・WAVE ファイル作成

1. MD-DAT、マイクの場合
Windows パソコン上で録音・ファイル保存
2. オーディオ CD の場合
市販の録音編集ソフトまたはリッピングソフトで WAVE ファイルにリッピングし、保存します。
3. テキスト入力の場合
市販のテキスト音声変換ソフトまたは<テキスト入力>アナウンサーソフトで WAVE ファイル保存。

WAV500 シリーズ用カードデータの作成

登録エディタソフト VoiceNavi Editor で試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム登録し、カードデータ作成します。(モードC WAV500 シリーズ用)

CF カードヘコピー

作成したカードデータをカードアダプタ経由でコピーします。

WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する場合]

録音

WRX7000 シリーズ本体で MIC またはライン入力で録音します。

WRX7200II 4CHmax

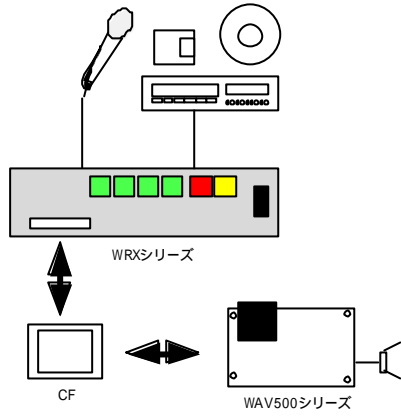
WRX7700II 8CHmax.

CF カードにはリアルタイムで PCM データで録音、WAVE ファイル形式で記録します。

WRX シリーズで録音したカードデータも登録エディタソフ

VoiceNavi

トVoiceNavi Editor で読み込みできます。
また録音した CF カードのデータはパソコンで CD や DVD
にバックアップして保存して下さい。



(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105
URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail info@voicenavi.co.jp